|  |  |
| --- | --- |
| 消防計画作成例（テナント用） | これは作成例です。色がついた箇所に必要事項を記入と内容の添削をし、防火管理を行うところに適した消防計画を作成して下さい。※の欄は、いずれかを選択し○を付けて下さい。 |

|  |  |
| --- | --- |
| (事業所の名称) |  |
|  | **消防計画** |
| **１　目的と適用範囲**　この計画は、火災等の災害の予防と人命の安全及び被害の軽減を図ることを目的とし、この計画で定めたことは、ここに勤務し、出入する全ての者が守らなければならない。**２　自衛消防計画（災害発生時に果たすべき任務）**　ア　火災、その他災害発生時における被害を最小限度にとどめるため、防火管理者は災害発生時に、消防計画または全体の消防計画に定める自衛消防隊が編成されるまでの間、全力を挙げて下記に定めるほか必要な任務を果たすものとする。 |
| 実施項目 | 具体例 | 実施要領（該当項目にチェック） |
| 統　括(防火管理者) |  | □　各担当者への指示と状況把握□　消防隊への連絡、情報提供 |
| 火災の周知(火災発見者) | 非常ベルや大声で火災を知らせる | □　火災報知機または非常ベルを押して、ベルを鳴らす□　他テナントに聞こえるよう、大声で知らせる□　その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 初期消火(担当者) | 消火器等で消火活動をする | □　消火器を使用して消火する□　必要があれば、近隣テナント等に助けを求める□　屋内消火栓を使用して消火する□　その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  |
|  |
| 通　報(担当者) | １１９番通報と必要な関係者へ連絡をする | □　ビル等の住所・名称・火災発生階とテナント名をはっきりと伝える□　初期消火・負傷者の状況・何が燃えているかなどの情報を、可能な限り伝える□　その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  |
|  |
| 避難誘導(担当者) | 建物の外の安全な場所まで避難誘導をする | □　外来者を誘導し、地上まで避難させる□　階段が使用できない、またはたどり着けない時は　避難器具を使用して避難させる□　負傷者発生時は、身近なもので応急手当を行う□　逃げ遅れ者がいないか、最終確認をする□　その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  |
|  |
|  |
| 　イ　防火管理者は、災害発生時において必要のある場合は、下記のとおり近隣テナント等に協力を求めるものとし、可能な限り各テナント等に了解を得ておく。 |
| 階 | テナント名 | 責任者名 | 依 頼 す る 事 項 | 了解印 |
|  |  |  | 初期消火の協力　屋内消火栓を使用する場合の協力 |  |
|  |  |  | 避難誘導の協力　店舗外に避難した者を安全な場所へ誘導 |  |
|  |  |  | 通報の協力　やむを得ない場合の１１９番通報代行 |  |

|  |
| --- |
| **３　火災予防上の自主検査**　ア　平素の火災予防および地震時の出火防止のため、防火管理者（火元責任者）は平常時、下記に定めるほか、必要事項を確認し、不備のある場合は速やかに改善する。 |
| 項　目 | 確　認　事　項（必要のあるものにチェック） |
| 火元管理 | □　ガスを使用しない時は元栓を閉める□　コンロ周辺に、ふきん等の可燃物がない□　コンロと壁の間隔が、適切に保たれている□　コンロに面する壁に、熱がこもっていない□　ガス漏れ警報装置を取り付けてある□　定期的に業者の点検を行っている□　電気調理器具、ポット等は使用しない時はコンセントを抜く□　喫煙の後始末は確実に行っている□　電気コードやコンセントの老化や損傷がないか、随時確認する□　フード内に溜まった油は、随時清掃している□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 建物管理 | □　(※)共有の通路・階段に、障害物や可燃物が放置されていない□　通路への扉は全て、非常時に容易に開放できる□　(※)防火扉、シャッターが支障なく開閉できる□　カーテン、じゅうたん等は防炎性能のあるものを使用している□　ゴミ等の可燃物を、建物の周囲に放置していない※建物全体に関する者は、建物管理者等の関係者に通報する |
| 管理者名 |  | 連絡先 |  |
| □　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 設備管理 | **消火器**□　消火器の設置位置と使用方法が分かる□　消火器を買って５年以内、または点検済みである□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| **屋内消火栓** | ※ ある ・ ない |  |
| 　□　屋内消火栓の位置が分かる　□　近隣テナントの関係者と協力をして、屋内消火栓を使うことができる　□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| **自動火災報知設備** | ※ ある ・ ない |  |
| 　□　火災報知機の受信機の位置が分かる　□　火災報知機の受信機を見て、どの位置で異常があるか分かる　□　火災報知機の押しボタンの位置が分かる　□　火災報知機が誤作動を起こした時、ベルを止めることができる　□　物入れ・更衣室など、感知器のない間仕切りを、新たに作っていない　□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 非常警報設備 | ※ ある ・ ない |  |
| 　□　非常ベルの押しボタンの位置が分かる　□　非常ベルの停止方法が分かる　□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 避難器具 | ※ ある ・ ない |  |
| 　□　避難器具の設置場所が分かる　□　避難器具の使用方法が分かる　□　避難器具の降下地点に障害物（植栽・車両等）がない　□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  |

|  |
| --- |
| **４　教育・訓練**　防火管理者（火元責任者）は従業員（アルバイト等含む）に対して本計画を周知するとともに、入居ビル等についての全体の消防計画に定める自衛消防訓練に参加をし、年２回以上の訓練を実施するものとし、その旨を最寄りの消防署へ報告する。**５　夜間・無人時の防火管理** |
| 　夜間および休日等で無人になる場合、下記 | （※ ア ・ イ ・ ウ ・ エ ） | のとおり防火管理を行う。 |
| 　**ア**　警備会社に委託する場合

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 警 備 会 社 名 |  | 担 当 者 |  |
| 緊急時の連絡先 |  | 電話番号 |  |
| 警備会社への委託内容 | □　異常発生時における関係機関への通報□　異常発生時における現場確認□　火災発生時における初期消火、消火協力□　火災発生時における避難誘導の協力□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

　**イ**　付近に在住する従業員に連絡する場合

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 従業員名 |  | 役職 |  |
| 住所 |  |
| 連絡先 |  | 携帯等 |  |

　**ウ**　防火管理者が、建物の一部、または隣接する建物に居住する場合

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 防火管理者名 |  | 役職 |  |
| 居住する場所 |  |
| 世帯主名 |  | 連絡先 |  |

　**エ**　その他、備考

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |

**６　その他**　ア　防火管理者の変更、建物の増改築に伴う避難経路の変更等により本計画に変更が生じた場合は、遅滞なく、その旨を記した消防計画変更届出書を消防本部に提出をする。　イ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

|  |
| --- |
| ※下記に必要事項を記入し、電話のそばの見やすい所に貼ってください。 |
|  | **１１９番通報マニュアル** |  |
| **※ 火事 ・ 救急** | です。 |
| (建物名) |  | (階数) |  | (事業所名) |  |
|  | の | **階** | の |  | です。 |
| 電話番号は |  | で、私の名前は　**○○**　です。 |
| (燃えているもの) |
| ×××× | が燃えています。 |
| **※水・消火器・屋内消火栓など** | で消そうとして | **※消えました・消えません。** |
| 現在、建物内の人は | **※避難しました・避難しています・逃げ遅れがいます。** |
| けが人は | **※ います・いません。** |  |
|  |
| **火災時の避難経路と一時避難場所** |